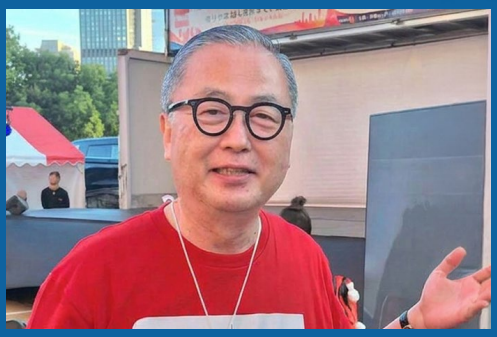
Governor's MONTHLY LETTER
NOVEMBER 2026 11
Rotary District 2750

ガバナー月信

地区ガバナーメッセージ 「行動と連携で紡ぐ、未来への贈り物」



RＩ会長メッセージ

CREATE LASTING IMPACT
持続可能なインパクトを生み出そう

国際ロータリー第2750地区　2026-27年度ガバナー　武藤 英正

ロータリー財団がつなぐ、未来への贈り物

11月「ロータリー財団月間」に寄せて

武藤年度がスタートして 4 か月が経ちました。ガバナー公式訪問を通じて多くのクラブを訪れ、それぞれの歴史や文化、地域性を生かした奉仕活動に触れる中で、改めてロータリーの素晴らしさを実感しています。

私は常々、クラブに個性があるからこそ、ロータリーは魅力的なのだと申し上げています。それぞれのクラブが地域の課題に向き合い、自ら考え、行動する。その多様な活動を支え、さらに大きな力へと発展させてくれるのが、ロータリー財団の存在です。

11月は「ロータリー財団月間」です。

ロータリー財団と聞くと、寄付や補助金の制度を思い浮かべる方も多いと思います。しかし私は、財団の本当の価値は、私たちロータリアンの「誰かの役に立ちたい」という思いを具体的な奉仕へと変え、その成果を未来へつないでいくことにあると考えています。

地区補助金（DG）は、各クラブが地域の実情に合わせて取り組む奉仕活動を支え、グローバル補助金（GG）は、国境を越えた協力によって、より大きな課題の解決を目指す仕組みです。一つのクラブだけでは実現が難しい活動も、ロータリー財団の支援と、クラブや地区の連携によって実現の可能性が広がります。

今年度、その一つの具体例として、韓国のロータリー地区とともに、モンゴルの子どもたちの教育環境を改善する国際共同奉仕プロジェクトの実現に向けた取り組みを進めています。きっかけは、国際ロータリー第3650地区の金振煥（キム・ジンファン）ガバナーエレクト（当時）との交流でした。東京でお会いした際に、モンゴルの教育支援についてお話をいただき、その後、具体的な事業計画をご提案いただきました。

計画されているのは、モンゴルの首都ウランバートル市内の中学校に、ＡＩ・ＩＴ学習センターを整備する事業です。
教室の増築や既存施設の改修を行い、ＡＩに対応したパソコン50台の設置、教材の提供、現地教員の研修などを通じて、子どもたちが新しい技術を学ぶ機会を広げようというものです。

このプロジェクトは、モンゴルの現地ロータリークラブを中心に、韓国の第3650地区、第3640地区、そして私たち第2750地区が協力し、グローバル補助金の活用を目指す計画です。

私は、このような地区の枠、さらには国境を越えた連携こそ、ロータリー財団の大きな力だと感じています。それぞれの地区が持つ知識や経験、資金、そして人とのつながりを持ち寄ることで、一つの地区だけでは実現できない事業が可能になります。そして何より、この事業の中心にあるのは「人を育てること」です。新しい学習環境でＡＩやＩＴを学んだ子どもたちが、将来それぞれの夢を実現し、地域社会の発展を支える人材へと成長していく。その可能性を広げることは、私たちが次の世代に贈ることのできる大切な財産ではないでしょうか。

ロータリー財団のもう一つの大きな役割も、まさにこの「人づくり」にあります。以前、ロータリー財団学友会の総会に出席した際、海外留学から帰国された学友の皆様と、これから留学する奨学生によるパネルディスカッションが行われました。先輩方が自らの経験を語り、これから世界へ羽ばたく若者たちを励ます姿は、大変印象的でした。かつてロータリーに支えられた人が、今度は次の世代を支える。そのつながりこそ、ロータリー財団が長年にわたって育んできた、かけがえのない財産だと思います。

今年度の地区テーマは「行動と連携で紡ぐ未来への贈り物」です。寄付をすることも一つの行動です。その寄付を生かして奉仕活動を実施することも行動です。そして、クラブとクラブ、地区と地区、人と人が連携することで、その行動はさらに大きな成果へとつながっていきます。

財団への寄付は、単に資金を提供することではありません。まだ出会ったことのない誰かの可能性を広げ、その人の未来を支えることでもあります。

私は、地区はクラブを一律に指導する組織ではなく、それぞれのクラブの個性に寄り添い、そのクラブらしい奉仕を支える組織でありたいと考えています。そのためにも、地区内の委員会が横につながり、補助金制度に関する情報や事業の経験を共有し、各クラブがより積極的に財団を活用できる環境を整えていきたいと思っています。

11月のロータリー財団月間を機会に、ぜひ各クラブで財団の活動について改めて学び、奉仕の可能性を話し合っていただきたいと思います。そして、その活動を支える年次基金や恒久基金、ポリオプラス基金へのご理解とご支援をお願いいたします。

人を育て、人をつなぎ、奉仕の輪を世界へ広げる。

皆様の一つひとつの行動と連携によって、ロータリー財団を通じた「未来への贈り物」を形にしてまいりましょう。

スペーシアXロータリー号で行く 東武ワールドスクウェア世界旅行

～子どもたちの笑顔に出会えた、特別な一日～



2026 年 10 月 1 日（木）、都民の日。秋晴れの空の下、東武鉄道の人気特急「スペーシア X」を貸し切り、子どもたちとともに東武ワールドスクウェアを訪れる、素晴らしい奉仕事業が実施されました。

この事業は、東京山の手ロータリークラブを中心に、東京世田谷ロータリークラブ、東京クロスシティロータリークラブの 3 クラブが合同で企画したものです。普段なかなか旅行に出かける機会の少ない児童養護施設や社会福祉施設などの子どもたち、そしてさまざまな事情から外出の機会が限られている方々に、特別な列車の旅を楽しんでいただこうという思いから生まれました。

当日は、ロータリアン約 80 名、招待された子どもたちやご家族など約 100 名、総勢約 180 名が参加。私も妻とともに参加させていただきました。

午前 10 時 40 分、浅草駅を出発したスペーシア X ロータリー号。貸切列車の車内では、子どもたちが楽しめるゲームや車掌体験など、さまざまな企画が用意されていました。普段はなかなか乗ることのできない特別な列車での旅に、子どもたちの笑顔が広がっていたことが印象に残っています。





目的地の東武ワールドスクウェアでは、世界各地の有名な建築物や世界遺産を 25 分の 1 の縮尺で再現した展示を見学しました。エジプトのピラミッドやフランスのエッフェル塔、イタリアのコロッセオなど、世界の名所を一度に巡ることのできる体験は、子どもたちにとって新しい世界への興味や関心を広げる機会になったことと思います。

今回の奉仕事業で、私が特に素晴らしいと感じたのは、「子どもたちに楽しい思い出をつくってもらいたい」という純粋な思いを、実際の行動に移されたことです。





奉仕活動というと、物資や資金を提供することを思い浮かべることもあります。しかし、誰かと一緒に過ごす時間や、初めての体験、そして心に残る思い出を贈ることも、大切な奉仕の一つではないでしょうか。

列車に乗ったときのわくわくした気持ち、車窓から見た景色、仲間と一緒に笑い合った時間。そうした経験は、子どもたちの心に残り、いつか新しいことに挑戦するきっかけになるかもしれません。

私は今年度の地区テーマに「行動と連携で紡ぐ、未来への贈り物」を掲げています。今回の事業は、まさにそのテーマを形にした奉仕活動だと感じました。

一つのクラブだけでは実現が難しい大きな事業も、複数のクラブが知恵を出し合い、それぞれの得意分野を生かし、力を合わせることで実現できます。さらに今回は、東京西ロータリークラブからも参加をいただき、クラブの歴史的なつながりを越えて、奉仕の輪が広がりました。

私は日頃から、それぞれのクラブには歴史があり、文化があり、個性がある。その違いこそが第 2750 地区の財産であると申し上げています。

すべてのクラブが同じ奉仕活動をする必要はありません。それぞれのクラブが持つ発想や強みを生かし、必要なときには横につながって協力する。そのような連携こそが、これからのロータリーをさらに魅力的なものにしていくと考えています。

また、今回の事業は、企画から準備、当日の安全管理や子どもたちへの配慮に至るまで、多くの方々の協力によって支えられていました。楽しい一日の裏側には、参加する子どもたちが安心して過ごせるよう、細やかな準備を重ねてくださった皆様の努力があります。

奉仕とは、誰かのために思いを寄せ、その思いを行動に変えること。そして、その行動を仲間とともに大きな力へと育てていくことなのだと、改めて感じました。子どもたちの笑顔こそ、今回の奉仕事業の何よりの成果だったと思います。

この日の体験が、子どもたちにとっていつまでも心に残る思い出となり、未来への小さな希望や夢につながってくれることを願っています。

素晴らしい事業を企画・運営された東京山の手ロータリークラブ、東京世田谷ロータリークラブ、東京クロスシティロータリークラブの皆様、そしてご協力いただいた東京西ロータリークラブと第 2620 地区からご参加の静岡日本平ロータリークラブをはじめ、すべての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。







ガバナー公式訪問（多摩中グループ）

ガバナー補佐　**宍戸 隆介**（東京国分寺RC）







多摩中グループのガバナー公式訪問が、8 月 31 日から 9 月 10 日まで、13 クラブを 6 回に分けて行われました。

猛暑の中、例会に先立ち、各クラブ会長、会長エレクト、幹事と、ガバナーをはじめ地区役員との懇談会が開かれ、仕事やロータリーとの関わりなどが語られました。終始和やかな雰囲気の中で有意義な意見交換が行われ、温かく実りある時間となりました。続くガバナー卓話では、ＲＩや地区の方針、重点事項について、実体験を交えてわかりやすくお話しいただき、今後のクラブ運営と奉仕活動への学びを深める貴重な機会となりました。ご協力いただいた各クラブ会長、会長エレクト、幹事、そして事務局の皆さまに、心より感謝申し上げます。



ガバナー公式訪問（多摩東グループ）

ガバナー補佐　**田村 重己**（東京府中RC）







9月 30 日の東京たまがわ RC をもちまして、多摩東グループのガバナー公式訪問を終了しました。

武藤ガバナーより各クラブへ今年度の地区目標、方針が示されました。ご指示が大変明確で各会員も納得されたように感じました。懇談会においても自己紹介を会長・幹事・エレクトから発表があり、同クラブの中でも知らない人柄が共有され、とても良かったと思います。



RYLA授与式

青少年奉仕委員会・RYLA委員会



開催日：2026年10月10・11・12日
会　場：オリンピック青少年センター





【10/10(土)】
受講生オリエンテーション
［昼食］
開会式
基調講演Ⅰ
基調講演Ⅱ
［夕食］
セッションⅠ
入浴・就寝

【10/11(日)】
［朝食］
セッションⅡ
［昼食］
セッションⅢ
セッションⅣ
［夕食］
セッションⅤ
発表準備
入浴・就寝

【10/12(月)】
［朝食］
発表準備（リハーサル）
［昼食］
Awards 授与式
ご挨拶
受講生 Initiation Speech 前半
［休憩］
受講生 Initiation Speech 後半
［休憩］
Awards 授与式
講評
謝辞・閉会点鐘
記念撮影・
　スポンサークラブと交流
懇親会
解散

東京タワーから世界へ、ポリオ根絶への赤い灯火

～世界ポリオデー 2026 in 東京タワー～



2026 年 10 月 17 日（土）、国際ロータリー第 2750 地区では、10 月 24 日の世界ポリオデーに先立ち、東京タワーを舞台に「世界ポリオデー 2026 in 東京タワー」を開催しました。

今回、東京タワーを会場に選んだのには、大きな理由があります。

ロータリーが長年取り組んできたポリオ根絶活動を、ロータリアンだけでなく、一般の方々にも広く知っていただきたい。そして、日本国内はもちろん、世界各国から多くの観光客が訪れる東京タワーから、ポリオ根絶への願いを世界へ発信したい。そのような思いから、この事業を企画しました。

昼の部は、東京タワー南側駐車場において、どなたでも参加できる無料の啓発イベントとして開催しました。

会場では、ポリオについて楽しみながら学べるスタンプラリーや、地区内の各委員会による体験ブース、ステージイベントなどが行われました。スタンプラリーでは、子どもたちにも分かりやすい三択クイズを用意し、海外からのお客様にも参加していただけるよう多言語に対応しました。

私たちが大切にしたのは、単にポリオについて説明することではなく、「見て、聞いて、体験して、楽しみながら知っていただくこと」です。

ステージでは、実際にパキスタンでポリオワクチンの投与活動に携わっているロータリアンから、現地での活動についてお話を伺いました。また、日本国内でポリオに罹患された「ポリオの会」の皆様にもご登壇いただき、ご自身の経験を通じて、ポリオという病気の現実を伝えていただきました。

日本ではポリオを身近に感じる機会が少なくなりましたが、世界では今も根絶に向けた活動が続いています。現地で活動される方々、そして実際に病気を経験された方々の言葉は、ポリオ根絶が決して過去の課題ではないことを、改めて私たちに教えてくれました。

そして夕刻からは、特別協賛者の皆様をお迎えしてチャリティイベントを開催し、東京タワーの特別ライトアップを行いました。

午後 6 時、東京タワーがポリオ根絶活動のシンボルカラーである赤い光に包まれました。

東京の夜空に浮かび上がった赤い東京タワー。その光景を目にしたとき、私は、この光が単なるライトアップではなく、世界中の子どもたちをポリオから守りたいという、私たちロータリアンの願いそのものであると感じました。

東京タワーは、世界中の人々に知られる東京のシンボルです。赤く輝く東京タワーの写真がＳＮＳなどを通じて広がり、海外から訪れた方々が母国へ戻ってその体験を語る。そうした一つひとつの行動が、ポリオ根絶への理解を国境を越えて広げていくきっかけになることを願っています。

今回のイベントは、海外メディアの「アラブニュース・ジャパン」でも紹介されました。東京タワーの赤いライト





アップとともに、第 2750 地区によるポリオ根絶への取り組みが海外に向けても発信されたことは、大変意義深いことだと思います。

私は今年度の地区テーマに、「行動と連携で紡ぐ未来への贈り物」を掲げています。

今回の事業は、まさにそのテーマを形にしたものです。

地区内のロータリアン、ローターアクター、各委員会、特別協賛者、そして多くの関係者の皆様が、それぞれの立場で知恵と力を持ち寄り、一つの大きな事業を実現してくださいました。

地区組織は会社ではありません。誰かの指示だけで動くのではなく、一人ひとりが思いを持ち、自ら行動し、横につながることで大きな力が生まれます。

今回、東京タワーという場所で、多くの仲間が力を合わせて一つのメッセージを発信できたことは、私が目指している「地区を一つのチームにする」という姿にも重なるものでした。

そして、ポリオ根絶は、一つの国や一つの組織だけで成し遂げられるものではありません。国境を越えた協力と、長年にわたる地道な活動の積み重ねが必要です。

一人が知ることから始まり、その人が誰かに伝え、そして新しい行動が生まれる。

その小さな行動がつながり、やがて世界を変える大きな力になっていくのだと思います。

ポリオのない世界を次の世代に残すこと。それは、私たちロータリアンが未来の子どもたちに贈ることのできる、何より大切な「未来への贈り物」の一つです。

今回の事業を企画・運営してくださったポリオデー実行委員会、地区の各委員会、ローターアクターの皆様、特別協賛者の皆様、そしてご協力いただいたすべての関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

東京タワーに灯した赤い光を、一日の思い出で終わらせることなく、これからの行動につなげてまいりたいと思います。







メイクアップに行こう！

東京町田・中ロータリークラブ







例会情報

毎週火曜日（規定による休会を除く）12:30～13:30
レンブラントホテル東京町田

申込方法

前週火曜日までに事務局あてにお申し込みください。
【メールで】info@tokyomachidanaka-rc.jp
【電話番号】042-726-9731
【Web】
東京町田・中ロータリークラブHP

東京町田・中ロータリークラブは障害者の就労支援（就労者の賃金のアップを目指す）などを中心に活動をしております。先日もさつま芋の収穫を 10 月 6 日に障害者施設の皆さん、保育園の園児の皆さんも交えて行いました。今年も約 1200 本採れ、11 月 24 日には市長も来ていただき収穫祭を開催します。会員も増え活気に満ちたクラブです、是非遊びに来てください。

この記事は、各クラブへの
「ガバナー月信 配信版」で
ご参照ください。

ムトウくん



国際ロータリー第2750地区　会員数報告　2026年 9月

クラブ出席率の地区報告について　今年度より出席率の地区への提出義務は無しといたします。ただし出席率はクラブ運営のための大切な指標です。ぜひ各クラブにて継続いただき、現状把握に活かすよう運用してください。

ロータリークラブ

千代田グループ

クラブ名	26/7/1	26/9/末	増減
東京南	189	190	1
東京芝	69	72	3
東京新橋	36	36	0
東京赤坂	45	48	3
東京みなと	35	35	0
東京麻布	13	13	0
東京グローバル	16	17	1
東京サンライズ汐留	14	14	0
計	417	425	8

銀座・日本橋グループ

クラブ名	26/7/1	26/9/末	増減
東京銀座	173	174	1
東京日本橋	200	204	4
東京築地	62	64	2
東京日本橋東	54	54	0
東京中央	165	170	5
東京日本橋西	34	34	0
東京銀座新	66	67	1
東京中央新	50	52	2
東京あけぼの	22	24	2
東京山王	41	41	0
東京バリアフリーマインド	25	25	0
東京イマジンジョイナス	26	26	0
Tokyo All For Smile	14	14	0
計	932	949	17

京浜グループ

クラブ名	26/7/1	26/9/末	増減
東京羽田	52	52	0
東京品川	40	41	1
東京大森	28	27	-1
東京品川中央	26	27	1
東京田園調布	31	31	0
東京港南マリーン	7	7	0
東京大崎	28	29	1
東京蒲田	60	60	0
東京京浜	25	25	0
東京田園調布緑	27	27	0
東京白金	23	23	0
東京高輪	19	20	1
計	366	369	3

山の手東グループ

クラブ名	26/7/1	26/9/末	増減
東京西	178	181	3
東京城西	45	46	1
東京西南	32	33	1
東京原宿	12	12	0
東京杉並	36	37	1
東京神宮	27	27	0
東京恵比寿	92	94	2
東京広尾	29	29	0
東京渋谷	40	42	2
東京六本木	55	55	0
東京愛宕	36	36	0
東京インターナショナル	14	15	1
計	596	607	11

山の手西グループ

クラブ名	26/7/1	26/9/末	増減
東京世田谷	52	52	0
東京目黒	33	37	4
東京成城	10	10	0
東京クロスシティ	89	90	1
東京城南	13	14	1
東京山の手	71	72	1
東京成城新	19	19	0
東京青山	31	30	-1
東京自由が丘	10	10	0
東京米山友愛	26	26	0
東京米山 E2750	30	30	0
東京代官山	32	29	-3
計	416	419	3

多摩南グループ

クラブ名	26/7/1	26/9/末	増減
東京八王子	58	60	2
東京町田	66	67	1
東京日野	31	32	1
東京八王子西	118	121	3
東京町田・中	39	38	-1
東京八王子東	31	29	-2
東京八王子南	83	83	0
東京町田サルビア	45	46	1
東京飛火野	28	28	0
東京町田東	30	30	0
東京八王子北	49	50	1
計	578	584	6

多摩中グループ

クラブ名	26/7/1	26/9/末	増減
東京立川	116	117	1
東京小金井	40	41	1
東京国分寺	39	37	-2
東京三鷹	40	41	1
東京昭島	53	52	-1
東京国立	40	40	0
東京立川こぶし	90	91	1
東京井の頭	24	23	-1
東京昭島中央	50	49	-1
東京武蔵国分寺	44	47	3
東京小金井さくら	30	30	0
東京国立白うめ	12	12	0
東京ピースウィング E ※	26	26	0
計	604	606	2

※東京ピースウィングネクストロータリー衛星クラブ会員数を含む

多摩東グループ

クラブ名	26/7/1	26/9/末	増減
東京府中	47	47	0
東京調布	69	70	1
東京多摩	14	16	2
東京稲城	20	22	2
東京武蔵府中	45	50	5
東京たまがわ	24	26	2
東京調布むらさき	69	70	1
東京 i シティ	18	19	1
計	306	320	14

パシフィックベイスングループ

クラブ名	26/7/1	26/9/末	増減
GUAM	45	40	-5
SAIPAN	30	32	2
TUMON BAY	54	56	2
NORTHERN GUAM	24	24	0
PHONPEI	12	12	0
PALAU	15	15	0
GUAM SUNRISE	14	14	0
TRUK LAGOON	6	6	0
E-CLUB of PAGO BAY GUAM	26	26	0
計	226	225	-1

国内 89 クラブ計	4,215	4,279	64
地区 98 クラブ計	4,441	4,504	63

ローターアクトクラブ

クラブ名	実働会員数
東京府中	1
東京西	17
東京日野	0
東京銀座	26
東京品川	7
東京八王子	5
東京品川中央	7

クラブ名	実働会員数
東京昭島	6
東京田園調布	6
東京日本橋	18
東京オーキッド世田谷南	13
東京渋谷	13
MARIANAS	24
中央大学	131

クラブ名	実働会員数
SAIPAN	18
東京恵比寿	18
東京セントラル	11
東京ビジョン	12
ICU	13
国内 16 クラブ計	291
地区 19 クラブ計	346

国際ロータリー第2750 地区　2026-27年度　ガバナー　武藤 英正

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F　電話 03-3436-2750　FAX 03-5472-2750

第2750地区ホームページ
rid2750.org

発　　行：ガバナー　武藤 英正（2026-27）MUTO Hidemasa 2026

編集・制作：ガバナー月信・年次報告委員会

委 員 長　本橋　浩（東京クロスシティRC）　委員　大橋 雅英（東京日本橋RC）　河村 勝久（東京立川こぶしRC）

副委員長　沢﨑 和久（東京町田RC）　浅川 立憲（東京八王子西RC）　池田 弘市（東京小金井さくらRC）